



忘れられた“忘れもの”

附属総合情報センター企画開発室
助教 高塚 伸太郎

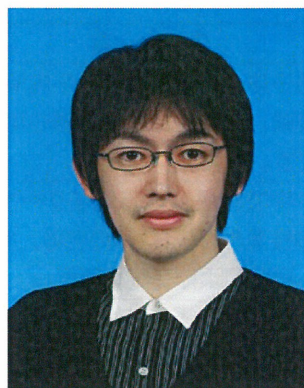
学内で落とし物、忘れ物をしたときはどこに取りに行けばよいかご存知でしょうか？ 多くの方は守衛室に、また学生は学務課に足を運んでいるのではないのでしょうか？ 実は図書館でも遺失物が保管されています。

図書館で遺失物が保管されている情報を多くの方が知らないのか、それとも「持ち物を無くした」ことに多くの方が気付いていないのか、附属総合情報センターには多くの遺失物が保管されています。長い間、持ち主が現れない忘れ物は多種多様な様相を見せています。「いかにも図書館」という忘れ物から「なぜ図書館」という忘れ物まで様々です。図書館でしっかり勉強したので忘れてしまったとうかがわせる筆記用具やノート、レジュメ、医学書などは当然のこととして、携帯電話の充電器、漫画、洋服などちょっと変わったものもあります。

普段生活していても落とし物や忘れ物はしてしまうものです。なので、よく使う場所、よく使うものであるならば、その頻度が多くなるのは頷けます。ましてや、試験の直前まで図書館で勉強していて、朦朧とした頭で試験に臨んだ後の解放感ならば、図書館に自分のものを置いていたことなど忘れても仕方がないかもしれません。

しかし、疑問があります。それは、なぜ引き取りに来ないのかということです。図書館で拾われているとは思っていないという可能性もあるでしょう。筆記用具やノートなどは、探すほどの価値を見出していないのかもしれませんが。また、拾われていたとしても自分のものだという証明の労力を考えたら、代用品で充分だと考えているのかもしれませんが。それとも、目的の授業や試験が終わったなどの理由でレジュメや教科書が不要になったので、探す必要がないということも考えられます。そうでなければ、そもそも無くしたことに気が付いていないのでしょうか？

確かにあるかどうか分からない遺失物を探すコストは意外にも大きいものです。印刷



物はコピーが出来ますし、筆記用具などは別のものを用意すれば十分です。しかし、医学書のような高価な書籍やUSBメモリ、データDVDのような重要な情報を無くした場合、簡単に割り切れることは出来ないはずですし、多大なコストを支払っても探す必要があると考えられます。しかし、こうした遺失物もまた、何か月も引き取り手のいないまま附属総合情報センター利用サービスグループに大量に保管されているという実態があるのです。

では、どうすればこのような不幸な遺失物を減らすことが出来るのでしょうか？ 一つは持ち主を明らかにすることです。小学校では「自分の持ち物に名前を書きなさい」となりましたが、大学でそれを実行することは難しいでしょうが、分かる場所に名前が書かれていれば、確実に届けることが可能になります。なので、せめて高価な医学書くらいは気恥ずかしさを我慢して記名してもいいかもしれません。

もう一つは高度な情報の伝達です。無くした、拾ったという情報、どこに届ければよいか、どこに探しに行けばよいかという情報。それらを効率よく広報できれば、不幸な遺失物は減少していくと考えられます。

図書室、パソコン室で物を拾ったとき、無くした時は、2F附属総合情報センター利用サービスグループ、もしくは2F図書館カウンターまで問い合わせてください。

図書館サービスのご紹介！！

図書館では、資料の閲覧・貸し出しに加え、医中誌 Web や MEDLINE などの文献検索、電子ブック、電子ジャーナルによる原文提供、Web 版辞書や UpToDate などの診療支援ツールを提供していますが、これらのサービスは全て当センター・ホームページより利用することができます。ここではホームページでの図書館コンテンツの配置位置についてご紹介します。

1 トップページの検索窓

ホームページのトップページにはコンテンツの内容に応じ、次の3つの検索窓が配置されています。

名称	内容
学内蔵書検索 (図1の①)	冊子体の図書・雑誌の学内所蔵検索。貸出中資料の予約も可能です。
電子ジャーナル検索 (図1の②)	本学で利用できる電子ジャーナルの検索と当該サイトへの誘導。レポート検索による閲覧も可能。
統合検索 (図1の③)	上記2つの検索に加え、電子ブック、PubMed、雑誌記事索引などの記事検索が可能。詳細は、後述4ページをご参照ください。



図1 トップページの図書館コンテンツ配置

2 検索窓を使った検索の特徴

検索窓を使った検索では、検索結果に対して、共通して次の操作を行うことができます。

- ① 冊子体の図書・雑誌の検索結果では、貸し出し中資料に対する予約ができます。
- ② 自宅など(学外)から電子ブック、電子ジャーナルの検索した際、本学電子メールアドレスで直接本文を閲覧することができます。
- ③ PubMed、雑誌記事索引の検索結果で、本学で所蔵しない資料に対し、直接複写申し込みができます(図2)。
- ④ 統合検索では、検索結果をサイト上で保存したり、EndNote、RefWorksなどの文献管理ソフトへ直接インポートすることができます。



図2 PubMedからの複写申し込み
(註. 複写申込のご利用は別途申請が必要です)

3 メニューバー「図書館サービス」

トップページ上部にあるメニューバー「図書館サービス」(図1の④)では、文献検索以外に研究個室やセミナー室の予約、Web 版医学辞書や診療支援ツール UpToDate、文献管理ツール RefWorks など図書館に係る全てのサービスにアクセスすることができます。

なお、図書館サービスご利用手続きの詳細については、メニューバー「図書館サービス」→「文献検索」→「概要」をご参照ください。当センターでは、みなさまからご活用されることを期待しています。

(主査(利用サービス) 内線2418)

国外学術雑誌の整備について

本学で購読しています国外学術雑誌は、毎年度の価格上昇があることから平成 15 年度より全学調整を行い、購読タイトルの決定を行っています。ここでは本学の国外学術雑誌整備方法と平成 25 年度整備の概要についてご説明します。

1 国外学術雑誌整備方法

国外学術雑誌の購読にあたっては、予算の効率的な執行と閲覧誌数の拡充を目的に次の方法で購読タイトルの決定を行っています。

- ① 日本医学図書館協会や大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）が実施する共同購入事業（電子ジャーナル・コンソーシアム）を主体とした契約により購読誌数の数倍のタイトルが閲覧できるよう整備を行っています。
- ② 購読タイトルの決定にあたっては、毎年度 7 月に購読希望調査を行うとともに、上記①のコンソーシアム参加要件を維持する必要があることから、新規購読、購読中止に係る全学調整を行っています。
- ③ 購読タイトルは、当センター運営委員会の審議を経て、最終決定されます。

2 平成 25 年度整備結果

平成 25 年度についても前述 1 の方法により検討が行われ、最終的には表 1 のとおり、新規提供 13 誌、提供中止 16 誌となりました。特に新規提供では、関係各位のご協力により購読希望の多かった「Nature Reviews Cancer」をはじめとする 9 誌について科研費間接経費により整備することができました。なお、本年度において閲覧可能な電子ジャーナル誌数は表 2 のとおりです。

3 おわりに

国外学術雑誌の購読価格は、原価の値上がり以外に、契約時の為替レートにより大きく変動します。ここ数年については円高により原価の値上がりに伴う不足額を緩和できていましたが、平成 26 年度については、大幅な円安に加え、消費税率の引き上げ（5%から 8%へ）により近年にない不足額の増加が見込まれています。当センターでは、平成 15 年度より実施しています現在の国外学術雑誌整備方法の抜本的な見直しも含め、対応方法の検討を行ってまいります。検討結果がまとまり次第、あらためて全学にご案内の上、ご意見、ご要望をお聞きする予定であります。引き続き、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

表 1. 平成 25 年度新規提供・提供中止タイトル一覧

◎新規提供

Cell Host Microbe
Cell Metab
Cell Stem Cell
Clin Respir J
Concepts Magn Reson Pt. A,B
J Pediatr Rehabil Med
Nat Rev Cancer
Nat Rev Cardiol
Nat Rev Gastroenterol Hepatol
Neuropsychol Rehabil
Psychiatr Serv
Respir Med
Schizophr Res

◎提供中止

Am J Respir Cell Mol Biol
Brachytherapy
J Cereb Blood Flow Metab
J Neuroophthalmol
J Pediatr Ophthalmol Strabismus
J Thorac Imaging
Kidney Int with Suppl
Magn Reson Med
Minim Invasive Neurosurg
Proc Am Thorac Soc
Psychol Bull
Psychol Rev
Radiol Clin North Am
Radiother Oncol
Semin Nucl Med
Semin Radiat Oncol

表 2. H25 年度学術雑誌閲覧可能誌数

区分	国内誌	国外誌	合計
冊子体	153	141	294
電子ジャーナル	1,470	3,213	4,683

※冊子体は図書館購読誌数。また、電子ジャーナルには、アーカイブのみのタイトルは含まない。

新統合検索システム“PIRKA”^{ピリカ}を公開しています！

すでにお気づきの方もいらっしゃるかと思いますが、本年4月中旬より当センター・ホームページにおいて新統合検索システムの試験運用を行っています。新統合検索システムは、本誌前号（第4号）でもご案内していますが、“ディスカバリー・サービス”と呼ばれもので、次の特徴があります。正式公開は、6月下旬となる予定であります。是非ご期待ください。

〔ご利用方法〕

- ① 当センター・ホームページのトップにある「統合検索：PIRKA」より直接検索が可能です(本誌2ページ参照)。
- ② 専用検索画面をご利用する場合は、「図書館サービス」→「文献検索」→「PIRKA(統合検索)」からアクセスしてください。

〔新統合検索システムの特徴〕

- ① 従来、それぞれ別なシステム検索していた冊子体の図書・雑誌や電子ブック、電子ジャーナル、PubMedや雑誌記事索引などの学術文献や記事を横断して一括検索できます。
- ② 本学メール・アカウントでのログインにより検索結果の保存、RefWorksやEndNoteへの文献管理ツールへの出力ができます。
- ③ PubMedなどの検索結果文献に対し、直接リモート・アクセスすることができます。

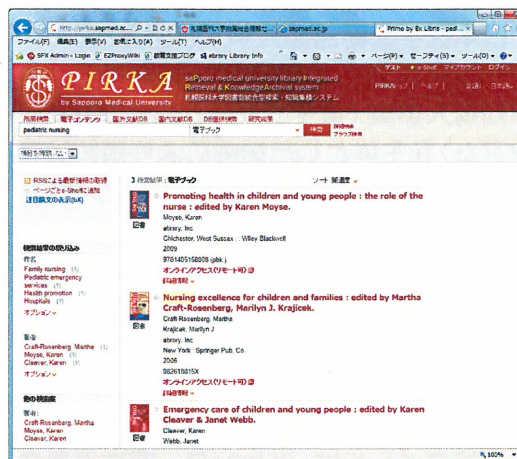


図. PIRKAでの電子ブック検索結果表示

(情報システム係 内線2239)

◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内線	E-mail	照会先
図書館の利用に関すること	2424	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス(カウンター)
学内所属員の文献複写依頼に関すること	2418	illo@sapmed.ac.jp	利用サービス
学外からの文献複写の申し込みに関すること	2417	illr@sapmed.ac.jp	利用サービス
図書に関すること	2416	book@sapmed.ac.jp	図書係
雑誌に関すること	2423	serial@sapmed.ac.jp	図書係
札幌医学雑誌に関すること	2416	satuisi@sapmed.ac.jp	図書係
メール・アドレス、LANへの機器接続に関すること	2239	icccj@sapmed.ac.jp	情報システム係
図書館へのご意見・ご要望に関すること	2413	konno@sapmed.ac.jp	主任司書

誌名「Barks(バークス)」は、本の語源でありますラテン語の「樹皮(iber)」の英訳です。

バークス
Barks

Sapporo Medical University
Scholarly Communication Center

北海道公立大学法人
札幌医科大学附属総合情報センター

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
TEL 011-611-2111(代表) FAX 011-641-9646

URL <https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/> E-mail libserv@sapmed.ac.jp